

バリアフリームーブメント

Vol.41

“いざ”じゃないとき知る知識！
“いざ”というとき引き出す知識！

バリアフリーな社会を生きるため、
必要なことを先取りしよう！

「今回のテーマ」
調味料入れに「工夫」
小さな配慮で
不便さを解消！

既存の製品をより多くの人が使いやすいようにしてくるモノ、今まで使いたくなかったものを使いやすくするためのモノ等、これらがどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や情報を紹介しているこのコーナー。
今回は、「調味料入れの工夫」を紹介する。

(株)美和



〔しょうゆ、ソース容器〕のお問い合わせ先
(株)旭創業
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉1-4-21
TEL: 06-6695-3751/FAX: 06-6695-3759
http://www.asahi-so.co.jp/

しょうゆ
ソース

「旭創業の右近雅晴さんは、調味料容器を我々では「ランチャー」と名付けました。ないことがも知れないが、多くの人が使いやすいよう、工夫する同社の考え方は、今後のモノ作りに欠かせないものである」と話した。

「これはランチャーチャタリングという意味で、多くの方に楽しんでランチャータイムを提供したいという思いが込められています。今後、皆様にご覧いただきたいように、バリアフリー商品の開発に取り組みを進めたいと思っております」と話した。



(写真1)

「小さなポリ容器」に「さわってわかる印」

お弁当についている調味料の小さなポリ容器。コンビニエンスストアや町の弁当屋、日々のお弁当、行楽シーズンを子ども達の遠足など、小さな調味料容器は、とても便利である。このお弁当用調味料の小さな容器が誕生したのは、今から50年前(1956年)のことで、(株)旭創業(大阪・住吉区)が日本で最初に開発・販売したものだ。ポリ容器といえば、見慣れた小さな形を始め、ピン、ひょ

うたん、ぶたの形などさまざま、その用途に応じて使い分けられることができ、一回使い切りなので、衛生的で安心です。しかしこの容器、中身が何であるか簡単に識別できれば問題はないが、市販されているお弁当についていた場合は、中身が何か分かりにくい。「これはしょうゆめ、ソース」と迷った挙句、取りあえず開封して「ニオイを嗅いでから、中身を確認して使う場合も多いのではなからうか。

そんな利用者の不便さを少しでも和らげようと、同社が開発したポリ容器は、「見ても、さわっても分かる浮き出し文字と点字」(写真1)がついている。また同社の点字シルバートイプ(写真2)に「点字、日本語英語の併用、開封しやすい開け口を採用し、それらの表示も分かりやすいように工夫している。目の見える人、見えにくい人にかかわらず、表示が分かりにくいという不便さは同じである。小さなことで普段は気が付か



(写真右) フッシュワンしょうゆ差しM (型番: PU-2)
サイズ: φ61×111H(mm) 容量: 約47ml
メーカー小売価格: 800円(税込み価格: 840円)
カラー: アイボリー、クリアレッド、クリアブルー
(写真左) フッシュワンしょうゆ差しS (型番: PU-1)
サイズ: φ61×95H(mm) 容量: 約40ml
メーカー小売価格: 700円(税込み価格: 735円)
カラー: アイボリー、クリアレッド、クリアブルー

〔フッシュワンしょうゆ差し〕のお問い合わせ先
(株)台和
〒110-8531 東京都台東区上野5-6-10
URL: http://www.daiwa-grp.co.jp/

「1回押すだけ簡単操作!」 「フッシュワン」しょうゆ差し

お寿司や漬物など、直接しょうゆをつけて食べようと思いつくしょうゆ差しを傾げると、思った以上に上に出てしまい、食べ物がしょうゆで濡れなくなった経験はないでしょうか。自宅や行きつけの店など、そのしょうゆ差しの使い方の要領が分かっていけばよいが、使い勝手の分からないものと、恐る恐るしょうゆ差しを傾げ、うまくいかなかったり、また、目の不自由な人や手の自由が利きにくい人にとって、一度、この位の量が出たの

か分からなかったり、操作がうまくいかず多量に出てしまったという経験もある。そんな不便さを解消してくれる製品がある。(株)台和(東京・台東区)が開発する「フッシュワン」しょうゆ差し(写真3)だ。「フッシュワン」は、計量機能付きのしょうゆ差しで、1回ボタンを押すと約0.4CC分出るように設計されている。押しかけると微量調整ができるので、好みによって量を調整できるものもついている。

また「フッシュワン」は、うっかり手が滑ったり当たったりして倒しても、中身がこぼれにくいので安心して使える。同社の日用品監理部長(写真4)幸弘さんは「弊社では、お年寄りや身体の不自由な方へのやさしさとして使いやすいと考えて開発したソフトバリアフリー商品「フチエイド」のシリーズを商品化しています。また、誰でも使いやすい商品を目指して商品開発に力を入れています」と話した。